

2026 (令和 8) 年度

第 34回

大阪公立高校対抗テニス大会 (石山杯)

兼 近畿公立高等学校対抗テニス大会大阪府予選

第 18回

大阪公立高校テニス大会個人戦

兼 近畿公立高等学校テニス大会大阪府予選

個人戦	日 程	令和 8年 10月 18日、25日、11月 1日、21日
	会 場	各学校テニスコート、MTP北村

団体戦	日 程	令和 8年 11月 3日、8日、14日、22日、29日
	会 場	各学校テニスコート、MTP北村



主 催	大阪公立高校テニス大会実行委員会
後 援	大阪高等学校体育連盟テニス専門部

大会役員

大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

大内 康弘 (泉 北)

奥井 保亘 (寝屋川)

呉田 未来 (桜 宮)

下向 真治 (渋 谷)

藤森 洋弥 (日 新)

大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

浦 尊博 (東住吉総合)

奥井 みなみ (桜 宮)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

小林 大地 (桜 宮)

下岡 絵里 (淀川清流)

鈴木 将二 (登美丘)

田中 佳奈 (和泉総合)

玉川 敬祐 (桜 和)

中村 愛美 (伯 太)

浜本 慎吾 (日 新)

守谷 静香 (難波支援)

安田 一輝 (枚岡樟風)

吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

進行補助員

各高等学校テニス部部員

大会日程(個人戦の部)

- 10月 18日(日) 予選 各学校 **9:00開始**
- 10月 25日(日) 予備日 各学校
- 11月 1日(日) 本戦 MTP北村 9:00開始
- 11月 21日(土) 予備日 MTP北村

(備考)

- 大阪公立高校テニス大会個人戦で上位 12名の選手は近畿公立高等学校テニス大会個人の部の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校テニス大会個人の部の日程
令和 9年 1月 30日(土) *予備日 31日(日) 場所：MTP北村(大阪)
- 男子 予選ブロック 48ブロック
女子 予選ブロック 47ブロック ※谷 香凛(OBF) は予選免除

大会日程(団体戦の部)

- 11月 3日(火) 予選 各学校(第一会場・第二会場)
- 11月 8日(日) 予選 各学校(原則、第一会場)
- 11月 14日(土) 予備日 各学校
- 11月 22日(日) 本戦 MTP北村 9:00開始
- 11月 29日(日) 予備日 MTP北村 9:00開始

(備考)

- 大阪公立高等学校対抗テニス大会のベスト 4は近畿公立高等学校対抗テニス大会の出場資格が与えられます。 ***男子は上位5校までが出場資格を与えられます。**
- 近畿公立高等学校対抗テニス大会の日程
令和 9年 1月 5日(火)・6日(水) 場所：つつじが丘テニスコート(和歌山)

個人戦・団体戦の会場校へ

- ・雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン(090-6551-4976)に連絡すること。

大会注意事項(個人戦の部)

1. 試合開始と進行について

- **本戦・予選ともに9時00分より試合を開始する。**
- 試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロー番号順に進行する。
- 前の試合が終了後、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格となることがある。
- ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出について

- **出場選手は、各会場とも試合開始時間の15分前(8時45分)**
までに、本人が(ダブルスでは2人そろって)試合のできる服装に更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は棄権と見なし失格とする。
- 公共交通機関を利用の上、延着の場合は、メール(houkoku@osaka-hs-tennis.com)に路線名、時間などを連絡する。またその後、高体連のXを確認し、指示を読むこと。
- 本戦は、顧問または学校職員と一緒に出席を届け出る。
- 本戦に受け入れられたプレーヤーは、ウィズドロー(出場欠席・辞退)またはノーショー(無断欠場)に関して、理由書を添えて、文書(FAX可)で主催者に通知しなければならない。病気または怪我の場合は、医師の診断書を主催者に提出しなければならない。

3. 服装等について

- 服装は、JTAテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ失格とすることがある。
- 靴は必ずテニスシューズであること。
- ラケットにステンシルマークをつけることは認められている。

4. 試合に際して

- 予選でのボールは各会場で配布される。控えに入った選手は、会場本部よりボールを受け取ること。なお、本戦でのボールは本戦会場で配布される。(予選会場では予選優勝者はボールを受け取らないこと)
- プレーヤーは指定されたコートに入り、対戦相手が合っているかを必ず確認する。その後、トスをしてサービス・エンドを決めてからウォームアップに入る。ウォームアップはサービス4本、または会場レフェリーの指示による。
- サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。

- ① 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
- ② 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
- ③ 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせずに有効となります。

- 全試合セルフジャッジとする。コートの自分のサイドの判定は、そのコートのプレーヤーが正しく行うこと。アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。
- 不適切なジャッジには、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。
- プレーは連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。

- 試合中、なにか困ったことが起こった場合は、ロービングアンパイア(会場責任者)にすぐに相談すること。
- 試合中にガットが切れた場合、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
- 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を(5分以内に)本部に報告すること。
- 時間の管理は、アンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩は、レフェリーが考慮・判断する。

5. その他

- 公営コートでは試合当日に、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することを禁止する。
- 会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁する。
- 各学校では、校舎内への立ち入りを禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を処分対象とする。試合において不正があった場合も同様とする。
- 試合についての質問は、顧問及び選手のみに限る。保護者や観客はできない。
- ゴミは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないように、最大限の協力をしなければならない。
- レフェリーまたは会場校生徒(試合進行の係)の注意・指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 1. 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 2. 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

6. 記録の報告について

- 会場校は、試合日ごとに結果をメール(houkoku@osaka-hs-tennis.com)で報告してください。なお、ドローに勝者とスコアを記入した詳細報告はメールに添付(PDFファイルがのぞましい)し、送信してください。



件名	公立個人【BS・GS+ブロック番号】結果 ※例：公立個人BS 15・16結果
本文	BS 15. 1 田中(箕面北) BS 16. 16 山本(池田東) ※ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名を明記 会場 堺北高校 中村大輔 ※顧問や学校職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果(PDFファイルがのぞましい)

大会注意事項(団体戦の部)

1. 試合会場および日程について

- 予選においては、会場校が試合開始時刻を設定し、緊急の連絡先(携帯電話番号など)も合わせて残りの学校に連絡し、すみやかに試合を進めること。
- 本戦までに試合を消化できない場合は、そのブロックは棄権したものとみなす。
- 指定された試合日程に対戦しないチームも棄権したものとみなす。

2. 出席の届け出について

- 各チームは、あらかじめ設定された試合開始予定時刻の15分前までに、顧問または学校職員と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ出席を届けること。
- 1部の試合と2部のSF・Fは顧問または、学校職員の付き添いがなければ失格とする(2部のSF・F以外については、顧問または学校職員の付き添いは原則必要とする)。いかなる理由であれ、これを怠ったチームは失格となる。(ただし、公共交通機関の事故等で延着証明書などがある場合はこのかぎりでない。その場合、すみやかに会場校の代表者に連絡をいれること。)

3. 試合の順序、方法について

- 各学校1チーム、単3・複2の5ポイントの団体戦とする。
- 試合は、S1・D1・S2・D2・S3の順に試合を行うが、進行の都合上、試合を並行して行うことがある。
- 各日、各校の初戦はすべての試合を行い、その後は原則、勝敗が決定した時点で打ち切る。公営コートにおいては2試合目以降は勝敗が決定した時点で打ち切る。

4. 登録選手およびオーダーについて

- オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し会場に持ってくること。
- 登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
- オーダーについては、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。ただし、単については、登録順位の上位のものを、複についてはペアの登録順位の合計が上位の組を、合計が同じ場合は登録上位の選手を含む組をオーダーの上位に置かなければならない。
- 同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- オーダー用紙は、対戦相手が決定次第速やかに大会本部に提出すること。ただし、各学校で試合を行う際は、会場校への提出は不要とする。

5. 試合に際して

- 試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により、変更することがある。代表者は必ず次の試合日程を確かめること。
- 試合は1セットマッチ(タイブレークシステム)を採用する。
- 対戦チームは試合開始前にコートに入り、整列、挨拶をし、オーダーを交換する。もし相手チームのオーダーに疑義がある場合や、互いに交換した相手校のオーダー用紙に問題が発覚した場合は直ちに確認すること。

※オーダーを間違った場合は次のように処理すること。

- ①1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。
- ②試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。
(次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出すること。)
- いかなる場合も、登録メンバー以外の出場は認めない。1チーム(4～10名)が構成できない場合、失格とする。なお、進行については、高体連HP「秋季大会の新規定に沿った進め方について」に従う。
- コートに入れる人はプレーヤー、レフェリー、ロービングアンパイアに加え、ベンチコーチとして1面に1人とする。シングルスの場合のみ各学校1面にボールパーソン1人つけることができる。
- ベンチコーチは付き添いの顧問または学校職員のうち、オーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。
- 会場校は各校に可能な限り対戦前に公平になるよう練習時間を設定すること。また、各試合前のウォームアップは3分を超えてはならない。(レフェリー・会場係の指示が別にある場合はそれに従うこと。)
- プレーヤーは、指定されたコートに入り、まずトスをしてサービス・エンドを決めてからウォームアップに入る。ウォームアップはサービス4本、または会場レフェリーの指示による。
- サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。

- ①選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
- ②選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
- ③双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせず有効となります。

- プレーヤーは、試合中は誰からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可とする。
- 応援は、他のコートへ迷惑がかからないようにする(テニス必携『大会情報＞注意事項』参照)。
- この試合はセットブレイク方式を採用しない。(第1ゲームのチェンジエンドの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める。)
- 試合は、最初のサービスから最後のポイントまで連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。また、プレーヤーはコートを離れることは許されない。もし無断で(レフェリーの許可を得ず)離れた場合は失格する。
- 上記規則、注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は失格とする。
- 全試合、セルフジャッジとする。コートの自分のサイドの判定はプレイヤーが正しく行うこと。
- 不適切なジャッジに対しては、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。

6. 服装について

- 服装は、JTAテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴサイズなど）は、更衣を求める。更衣しなければ失格になることがある。
- 靴は必ずテニスシューズであること。
- 試合中にガットが切れた場合、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
- ラケットにステンシルマークをつけることは認められている。

7. その他

- 公営コートでは試合当日に、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することを禁止する。
- 会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁する。
- 各学校では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- 試合についての質問は、顧問及び選手のものに限り、保護者や観客はできない。
- ゴミは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないように、最大限の協力をしなければならない。
- その他、レフェリーまたは会場校生徒（試合進行の係）の注意・指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 1. 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 2. 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なく SNSなどにあげる行為を禁止する。

8. 記録の報告について

- 勝ったチームは、HPよりダウンロードし自校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、**会場校に提出**すること。
- **会場校は**、予選ブロック優勝校が決まり次第、結果をメール(hokoku@osaka-hs-tennis.com)で報告してください。なお、ドローに勝者とスコアを記入した詳細報告はメールに添付 (PDFファイルがのぞましい) し、送信してください。



件名	公立団体【男子・女子+ブロック番号】結果 ※例：公立団体男子IVブロック結果
本文	男子IVブロック優勝 池田東高校 ※男女・ブロック番号・学校名を明記 会場 堺北高校 中村大輔 ※顧問や学校職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果 (PDFファイルがのぞましい)